

## 予算決算常任委員会 (全体会)

各分科会で決算案件に対する質疑が行われた後、全体会を開催し、分科会長報告、報告に対する質疑、討論を経て採決を行いました。全体会での討論の一部を紹介します。

### 討論【不認定】

・平成30年5月、こども園の用地について、教育委員会が農業委員会へ農地転用等の申請をされたが、この用地は30年の3月議会で財産取得の議案が提出され、29年度末に加西市が取得したものである。本来は、農地転用手続き後に名義変更すべきであり、農地転用ができていない状況で用地取得を行ったことが判明し、極めて問題である。基本的な手続を無視して事業を進めていくという姿勢に大きな疑問を感じる。また、就学前施設の統廃合問題については、一部地域で施設を残して欲しいという声があったが、それを無視して一方的にことを進める行政のあり方に、大きな疑念を感じざるを得ない。

・泉こども園の件は非常に強引に進められた感がある。安全性を考えると、あの場所がふさわしかったのか疑問である。また、当時、修正案を提出した立場として、北条鉄道交差施設整備について、議会で費用対効果の議論があり、さらに取締役会、株主総会でも議論があったにもかかわらず、費用対効果が示されないままであった。播磨国風土記事業については、チケット販売収入等の自主財源をきちんと確保していくべきと申し上げたが、いまだに1,000万円を超える委託料が支払われ、運営されていることに疑問を持たざるを得ない。改善していくべきであり、いつまでも多額の費用をかけて続けるべきではない。

## 建設経済厚生常任委員会

特別会計と企業会計の決算案件は、建設経済厚生常任委員会において審議を行いました。主な審議内容は以下のとおりです。

### 国民健康保険特別会計

**問** 子育て支援の観点から、加西市独自で均等割軽減を実施するのか。また実施した場合の財源は。

**答** 現在、状況調査を行い、県の意見も聞きながら実施に向けて検討しています。しかし、保険税が統一化に向かう中、独自の減免基準を設定しても、時限的措置となる可能性もあります。国の制度見直しがない限り根本的な解決にはなりません。財源については、いろいろな方向から考え、最適な方法で確保したいと考えています。

### 公園墓地整備事業特別会計

**問** 最近、共同埋葬方式の合葬式墓地をつくる自治体があるが、そのニーズについての考えは。

**答** 将来的に、少子化や核家族化を背景に、承継や使用者不明、無縁墓地の増加が懸念されます。一方、墓じまい等がふえています。寺での引き受け等がありますので、民業圧迫に配慮しながら、市民の利便性のために、納骨堂の再編整備が将来的に必要なようになってくるのではないかと考えています。

### 水道事業会計

**問** 病院に対して5億7,000万円の一時貸付を行っているが、今後の見通しは。

**答** 鴨谷配水池関係の工事が残っており、今よりも現金が減る可能性が高くなりますので、今後は減額することも検討しています。

### 下水道事業会計

**問** 水洗化率は91.7%だが、水洗化推進のための取り組みは。

**答** 平成27年度から水洗化補助金を交付しています。補助額は一般家庭は10万円、65歳以上の家庭や障害者、母子家庭等の方は20万円です。平成30年度は43件で600万円、直近4年間で229件、3,170万円の補助実績です。この補助金を活用していただき、水洗化に前向きに取り組んでいただければと考えています。

### 病院事業会計

**問** 薬剤の仕入れ、委託の交渉等の現状と見込みについて。

**答** 薬剤については、今後ベンチマークシステムを導入し、交渉を行います。その他、人材派遣や委託業務についても抜本的に仕様から見直し、費用をしっかりと抑えていきたいと考えます。

(ベンチマークシステム)  
医療材料等について、他の医療機関の購入価格を照会、比較することができるシステム。

**問** 他の医療機関との連携について。

**答** 他の病院と連携を図り、地域包括ケア病棟に患者を回してもらうことにより経営の根幹をしっかりとさせる等、今後検討していきたいと考えています。